

障害者団体に対するヒアリングについて

団体名 社団法人日本てんかん協会

地域の就労支援の在り方を検討するに当たって、以下の質問について、下記の枠内に簡潔にお答えください。なお、参考資料を添付する場合であっても、ご回答は枠内に記載していただくよう、お願いします。

① 求職活動を行うに当たって、各就労支援機関に求めること（支援等）はなんですか。

- ハローワーク：地域の就労支援機関・施設（地域障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、都道府県市町村立就労支援センター、就労移行支援事業所、就労継続A型事業所、同B型事業所）に、一定割合の業務を委託するなど連携し、求職活動支援、職業紹介がスムーズに進むよう、体系的な業務展開を期待する。
- 地域障害者職業センター：地域の就労支援機関・施設に関する適切な情報提供とジョブコーチ支援など、必要に応じた直接的支援を期待する。
- 障害者就業・生活支援センター、都道府県市町村立就労支援センター：発作そのものの影響、併せもつ発達障害や高次脳機能障害の影響、その他個々人のてんかんについて詳しく情報を整理した上で、支援計画に基づく支援を期待する。
- 就労移行支援事業所：作業評価、就労準備のための講習、求職活動支援を通じて、具体的で本人に分かり易い、雇用就労に向けた支援を期待する。
- 就労継続A型事業所：安心して働ける場の提供の継続を、期待する。
- 同B型事業所：てんかん発作のある人も、合理的配慮を講じて受け入れることを、期待する。

② 企業において継続して働き続けるために、各就労支援機関に求めること（支援等）はなんですか。

- ハローワーク：地域の就労支援機関・施設に、一定割合の業務を委託するなど連携し、体系的な業務展開を期待する。
- 地域障害者職業センター：事業主へのてんかんに関する正しい知識の提供、ジョブコーチ支援など、必要に応じた直接的支援を期待する。
- 障害者就業・生活支援センター、都道府県市町村立就労支援センター：支援計画に基づき、可能な限りの長期間にわたる定着支援を期待する。
- 就労移行支援事業所：求職活動支援からの継続で職場定着支援を期待する。
- 就労継続A型事業所：安心して働ける場の提供の継続を期待する。
- 同B型事業所：就職後も引き続き受け入れ、職場定着支援について期待する。

③ ①及び②のほか、各就労支援機関に求めること（支援等）はなんですか。

- ハローワークの最新求人情報が、どの機関でも確認できるようになることを期待する。
- 就労支援機関のネットワークに拘りすぎず、障害や病気のある人を地域でサポートする、医療、福祉、保健、教育の領域とも有機的な情報交換ができるしくみを地域ごとに作り、対象となる人の生活全体のQOLが向上できるよう、役割を担ってもらうことを期待する。
- てんかんの専門知識を有するジョブコーチなどの養成を行い、日本てんかん協会の基礎講座を活用するなど、研修の機会が強力的に推進されることを期待する。
- てんかんは発作だけに注目されがちであるが、その障害特性を正しく理解するなど、各就労支援機関の担当職員が、もっとてんかんの基礎知識を有し、安心して相談できる体制を整えるとともに、職域の大幅な拡大を図られることを期待する。

④ 上記のほか、ご意見等があればお書きください。

- 一般市民、企業、学校において、てんかんについての広報・啓発が不足している。てんかん専門医や当事者組織である日本てんかん協会（全国の支部を含む）の関係者を講師に招くなどの活用をして、てんかんと地域移行・就労に関する研修会の開催が企画されることを期待する。
- てんかんのある当事者とその家族の体験を、支援者や事業主が地域で聞く機会を、積極的に設けられることを期待する。
- 同様に、てんかんのある人を雇用している事業主、採用担当者、管理職、同僚などの、体験を聞く機会もとても大切と考え、取り組まれることに期待する。
- 就労の前段階ではあるが、障害者職業能力開発校において、てんかんの障害特性に配慮したカリキュラムを設け訓練対象枠を拡大し、全国的に受け入れが積極的に推進されることを期待する。
- 公的機関での障害者枠採用において、積極的にてんかんのある人が採用されるようになることを期待する。

以上、ご協力ありがとうございました。